

# 平成28年度パイロット事業・支部調査研究事業について

## 1. 平成28年度パイロット事業・支部調査研究事業のテーマ

- 保険者機能強化アクションプラン（第3期）で定めた「実現すべき目標」を中心に、以下の事項をテーマとして募集。

《テーマ》

- |     |                    |
|-----|--------------------|
| I   | 医療等の質や効率性の向上       |
| II  | 加入者の健康度を高めること      |
| III | 医療費等の適正化           |
| IV  | その他 保険者機能強化に資する取組み |

## 2. 応募件数及び採用件数について

- 28年度パイロット事業・支部調査研究事業については、27年度と同様に1次審査（書類審査）、2次審査（プレゼンテーション）を実施し、採用する業務を選定。応募件数及び採用件数ともに27年度の倍以上となった。

	H28年度	H27年度
応募件数	27支部 54件	18支部 25件
採用件数	17支部 23件	8支部 10件

# 平成28年度に実施するパイロット事業・支部調査研究事業の概要

## ●ジェネリック医薬品の更なる使用促進 [AP目標Ⅲ(1)] ※AP:保険者機能強化アクションプラン(第3期)

福井	件名	『糖尿病』と『小児層』に特化したジェネリック医薬品軽減額通知等の実施
	概要	『糖尿病』治療者及び『小児層(主に5~9歳)』を対象にジェネリック医薬品軽減額通知を送付するほか、一定条件を満たした調剤薬局に対して、(医師会)・薬剤師会・協会けんぽの三者連名で認定する。さらに、県内の調剤薬局のジェネリック医薬品保有割合を掲載した『Ge医薬品使用割合結果票(仮称)』を送付し、その後に医療機関及び調剤薬局に対して「意識調査アンケート」を実施し、意識の変容を探る。
静岡	件名	データジェネリック~薬局向け「ジェネリック通信」と分析による階層化別勧奨~
	概要	県内の調剤薬局に対して、調剤薬局の使用割合等を数値化した「ジェネリック通信」を発送する。項目としては、薬局ごとの順位、市内平均・県内平均調剤率、後発医薬品体制加算状況、薬効別に調剤率が高い品目等を掲載し、使用促進を図る。
滋賀	件名	レセプトデータに基づく調剤薬局に対するジェネリック医薬品情報提供サービスの提供
	概要	ジェネリック医薬品の使用率向上のために、レセプトデータから広く普及しているジェネリック医薬品を薬効分類などのデータを調剤薬局に対して、情報提供を行う。また、使用率の高い沖縄支部のデータと比較し、ジェネリック医薬品使用割合の差が生まれる要因の分析を行う。
兵庫	件名	若年者に対するジェネリック医薬品軽減額通知送付業務
	概要	通知対象者の拡大を図るため、0~19歳の被扶養者を有する被保険者に軽減額通知を送付する。また、通常のジェネリック医薬品軽減額通知書に加え、親子で一緒に読むことができる漫画形態のリーフレットを封入する。
徳島	件名	ジェネリック医薬品使用促進に向けた加入者等意識調査 ※支部調査研究事業
	概要	使用割合の低い徳島支部加入者と使用割合の高い鹿児島支部の加入者及び薬剤師にアンケート調査を実施し、ジェネリック医薬品に関する意識度の比較や医師の対応、院内処方・院外処方薬局の対応について分析する。同時に、医療機関別・薬効分類別等の使用状況の分析を行い、使用促進に向けた施策を検討する。

## ●被扶養者の特定健康診査の受診率向上 [AP目標Ⅱ(2)(3)]

愛知	件名	「社員の奥様にも健診プロジェクト」(平成27年度からの継続)
	概要	事業所とのコラボヘルスを活用し、被保険者の勤務先から被扶養者に対して、「健診のお願い」を事業主名・支部長名の連名で発送し、被扶養者が「健診を受けなくてはならない」と思わせる環境を構築する。また、健診予約状況が芳しくない事業所に対しては、「予約状況のお知らせ」の郵送や事業所への訪問等により、協会けんぽから数回、受診勧奨を行う。
愛知	件名	健診スタートお知らせレターの送付(40歳デビューの方へ)
	概要	愛知支部の特定健診対象者約25万人のうち、5%にあたる約12,000人が初めて特定健診の対象となるため、健診デビュー年(40歳)の対象者に健診スタートのお知らせレターを送付することで、健診の受診を促す。
福岡	件名	被扶養者の特定健診未経験者(過去3年間特定健診を受診していない無関心層)への新たな受診勧奨促進～GISを活用し、行動科学に基づく動作指示を強化する取り組み～
	概要	過去3年間一度も特定健診を受けていない35,000人を対象に、GIS(地理情報システム)を活用して、対象者の「近距離の健診機関」を提示することで、動作指示を行い受診率向上を目指す。

## ●事業所とのコラボヘルスの更なる推進 [AP目標Ⅱ(4)]

栃木	件名	健康経営(全国展開)シンジケート団【THOCS(トークス)】の組成(平成27年度からの継続)
	概要	これまで実施されたパイロット事業の取り組みを統合させ、より有効な展開方法を構築する。(対象とする取組みは「栃木支部:健康格付型バランスシートヘルシーズ」、「広島支部:ヘルスケア通信簿」、「大分支部:一社一健康宣言」)また、定期的に他支部を集めたプラットフォーム(会議)を開催し、健康経営を普及・浸透させるビジネスモデルを構築する。
広島	件名	小規模事業所向けヘルスケア通信簿
	概要	平成26年度に事業主が従業員の健康課題等を把握できるツールとして「ヘルスケア通信簿」を作成し、被保険者30名以上の事業所に対して配布し、保健事業に活用した。今回、更なる保健事業の拡大に向け、個人情報に配慮した上で被保険者10名以上の事業所でも使用できる通信簿を作成する。
愛媛	件名	事業所に対する「姿勢と健康」推進
	概要	事業所を訪問し、姿勢測定カメラ等で撮影・分析のうえ、その結果を伝達及び姿勢改善に向けた効果的な運動をレクチャーする。また、訪問先事業所や業種団体を対象としたセミナーを開催し、健康運動指導士による姿勢改善運動レクチャーに加えて、管理栄養士による栄養・食事レクチャーを実施する。

## ●健診異常放置者への更なる受診勧奨 [AP目標Ⅱ(5)]

宮城	件名	健診受診機関より電話による未受診者への受診勧奨
	概要	健診結果から要治療として判定されながらも、医療機関を受診していない健診異常値放置者に対して、重症化予防として文書勧奨を行っているが、それでも治療を受けない者に対して、二次勧奨として健診医療機関からの電話勧奨を実施する。
広島	件名	健診異常値放置者対策 ～事業主・産業医と連携した受診勧奨～
	概要	健診結果から要治療として判定されながらも、医療機関を受診していない健診異常値放置者に対して、事業主を経由した産業医による受診勧奨を実施する。また、労働局長と支部長連名の送付書を使用することで、事業主からの積極的な受診勧奨につなげる。

## ●糖尿病性腎症の透析予防 [AP目標Ⅱ(5)]

千葉	件名	糖尿病性腎症の透析予防
	概要	健診結果より糖尿病腎症第3期以降及びレセプトから治療中の人を抽出し、優先順位の高い対象者に支援を受ける意思があるかを確認したうえ、受診している医療機関と連携を図りながら、協会けんぽ保健師による重症化予防のための支援を実施する。
石川	件名	糖尿病性腎症人工透析予防
	概要	レセプトや健診結果データより糖尿病腎症第3期の該当者を特定し、医療機関での受診状況、治療内容等から数年以内に人工透析に移行する加入者を抽出する。医療機関と連携し、治療行為と並行した支部の保健師等による保健指導を行うことにより、人工透析への移行を防止する。
大分	件名	データヘルスに基づく階層化支援サービス ～eGFR(推算糸球体濾過量)の低下速度に着目した重症化予防対策～ (平成27年度からの継続)
	概要	糖尿病重症化予防(臼杵市や臼杵市医師会とのコラボヘルス)、CKD(慢性腎不全)啓発(一社一健康宣言事業所とのコラボヘルス)を実施する。

## ●適正受診の勧奨 [AP目標Ⅲ(3)]

広島	件名	薬剤師会と連携した多受診者への取り組み
	概要	医療機関の多受診者については、入眠剤、向精神薬等の多量服薬により、薬物依存の傾向が見られる場合もあり、適正な受診指導を行うには、薬剤に関する高度な専門的知識が必要で難易度が高い。そのため、薬剤師会と連携し専門的知識を有する薬剤師も同行し訪問指導等を行う。
宮崎	件名	残薬削減に向けた通知
	概要	生活習慣病で通院する者で、受診頻度に対して処方日数が上回る該当者（1年間の処方で1か月分以上の残薬の可能性のあるもの）に対して、残薬確認の通知文書と回答書を送付する。また、今回の事業結果をとりまとめ、薬剤師会、医師会及び支払基金に対して、適正な受診を促すための意見発信を行う。

## ●業務に資するデータ分析 [AP目標Ⅰ(1)、目標Ⅱ(2)、目標Ⅲ(2)]

岡山	件名	「保険者機能強化アクションプラン(第3期)」のより効果的な展開に向けた調査
	概要	「保険者機能強化アクションプラン(第3期)」における実現すべき目標を効果的に展開するため、県内の健康保険委員、事業主等約5,000名に対し、有識者や外部事業者のノウハウを活用し、地域医療や健康づくり等それぞれの目標に関するアンケートを実施する。
広島	件名	事業主と連携(コラボヘルス)した簡易スクリーニング検査による歯周病検査の分析・効果検証 ～データヘルス計画の具体的な業務としての歯周病検査スキームの確立～
	概要	簡易スクリーニング検査による歯周病検査の受診者のうち、歯科医療機関受診者における医療費・健診結果等の分析・効果検証を行い、簡易スクリーニング検査による歯周病検査の効果を実証する。データヘルス計画の歯周病対策としてスキームを確立させて全国展開が可能なものとする。
広島	件名	レセプトデータを使用した傷病手当金の分析および給付適正化
	概要	傷病手当金の支給に関して、事業所別の特徴を裏付けするため、傷病手当金意見書に関する保有データの分析を行う。また、傷病手当金意見書交付料をキーとしてレセプトを抽出し、現金給付の適正化対策に役立てる。加えて、事業所記号・主傷病等で整列したデータを作成することで、事業所ごとの傾向を把握し、適正化に努める。

●複数年の調査研究 [AP目標Ⅰ(1)、目標Ⅱ(2)、基盤強化(2)]

※支部調査研究事業で採用

東京	件名	東京支部におけるデータヘルス計画遂行の為の調査研究 (平成22年度からの継続)
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①傷病手当金・健診・レセプト情報を用いた精神疾患医療費の分析</li> <li>②終末期医療費の推計と疾病別リスク予測モデル構築に関する研究 (兵庫支部と共同)</li> <li>③特定健診・特定保健指導の中長期的効果の分析</li> <li>④慢性腎臓病 (CKD) の危険因子の詳細分析</li> </ul>
兵庫	件名	疾病情報を活用した調査研究 (平成27年度からの継続)
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①終末期医療費の推計と疾病別リスク予測モデル構築に関する研究 (東京支部と共同)</li> <li>②業態別・疾病別の予測分析とリスク階層化、及び分析結果に基づく各種業界団体への個別アプローチ</li> </ul>